

守るための、再起動。①

～この高浜を、次の世代へきちんと渡していくために～

問合せ先 困行財政改革グループ ☎95-9546

今月号より、市の財政状況や行財政改革の検討状況などをお知らせしていきます。

市長メッセージ

※市長メッセージ全文・動画は二次元コードから確認できます



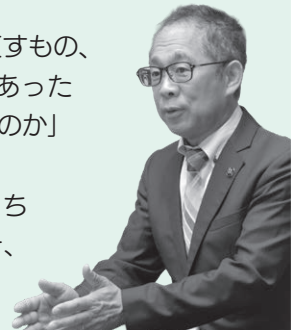
高浜市の財政は今、厳しい局面にあります。

近年は、必要な事業や行政サービスを守るため、財政調整基金（貯金）を取り崩しながら運営してきました。今、高浜市に必要なのは、貯金に頼らず、歳入に見合った持続可能な運営へと見直し、未来に向けてもう一度立て直していくことです。それが、『守るための、再起動』です。

これまで高浜市は、アウトソーシング推進による職員数の抑制、市立病院の民間譲渡、公共施設の再配置など、難しい判断を重ねながら、将来を見据えた見直しに取り組んできましたが、さらに次の段階の見直しが必要になっているのです。

再起動の前には、リセットの過程を避けて通れません。今あるものの中にも、見直すもの、形を変えるもの、なくなるものが出てくるかもしれません。しかし、大切なのは「あった方がいい」ではなく、「本当に必要なのか」、「将来にわたって責任をもって支えられるのか」で判断することです。

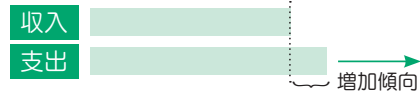
この高浜市を、先人たちから受け取った大切なまちとして、次の世代、子どもたちへきちんと渡していく。その責任が、今を預かる私たちにはあります。だからこそ、守るべきものを守るために、今、高浜市を再起動します。



行財政改革ってどうして必要なの？

近年は、収入の多くを占める市税について、大幅な増加は見込めない一方で、人件費や物価の高騰、扶助費の増大、デジタル化・システム標準化対応などで支出は増えており、このままでは、必要な行政サービスを提供するための財源が不足してしまいます。

かぎられた資源のなかで、将来にわたって皆さんの暮らしに必要な行政サービスを提供するため、なにを守り、なにを見直し、なにを未来へ託すのか。これまでの行財政運営を振り返り、これからの市を見据え、事務事業の見直しなどに取り組む必要があります。



不足分は貯金を取り崩し = 収支バランスが崩れている

必要な行政サービスの維持が困難に！

どんなことに取り組んでいくの？

職員によるプロジェクトチームや、有識者・市民による市民会議を設置し、おもに下記①～④の視点による行財政改革プランを策定し、実践します。

①事務事業の見直し

行政サービスの有効性や必要性を踏まえた事業の廃止や再構築など

②公共施設の再構築

公共施設の改修時期の見直し、維持管理経費の見直しなど

③組織構造改革

効率的・効果的な組織編成、働き方改革など

④財源の積極的な確保

受益者負担の見直し、さらなる税収の確保など

第1回 高浜市行財政改革市民会議

とき 6月15日(月) 14時～

ところ 市役所3階 議場

※準備の都合上、傍聴を希望する方は
できるだけ事前に連絡してください

市公式ホームページ▶

